

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	総合内科
② 診療科の特徴	専門科のみで十分な対応が行えない病状の患者や、様々な領域にまたがる複雑な身体的・心理社会的な問題を抱えた患者に対する総合的な視点を持つ診療を提供すること
③ 診療科のモットー	患者さんの視点を大切に、「専門医療との協力」を実践することで、様々なニーズにこたえ他の医療機関からも信頼いただける診療を目指して努力しています。 「当科的には異常なし」としないことをモットーにしています。
④ 診療内容・実績 (2019年4月時点)	基本的に初診2診，再診2診で外来診療を行っています。 外来診療では，発熱や浮腫，倦怠感など，何科に受診したらよいかわからないという患者さんの診療や，不明熱，未診断の諸症状についてのコンサルテーション・紹介患者さんの診療を行っています。 当科は感染症専門科ではありませんが，AST・ICT活動，感染症に関する依頼にも対応しています。 病棟業務ではおおよそ10～20名の入院患者を担当しており，平成30年度の入院患者数は約370名でした。
⑤ 診療体制 (2019年4月時点)	スタッフ医師4名＋診療看護師（JNP）1名＋後期研修医3名で診療にあたっています（日本内科学会総合内科専門医・指導医・集中治療専門医1名、日本感染症学会インфекションコントロールドクター1名を含む）。
⑥ 診療科カンファレンス	毎朝の全体カンファレンス 毎夕のチームカンファレンス 火曜午後外来症例カンファレンス 金曜午後全体カンファレンス 週1回多職種カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	各種感染症、高齢者診療を中心に多岐にわたる疾患を経験できます。
⑧ 経験できる技術・技能	将来どの専門に進むとしてもその基盤となる内科的なものの見方が身につきます。 ひとりひとりの患者さんに真摯に対応してゆく診療スタンスが習得できます。 さまざまな愁訴に対する対応を経験でき、臨床推論を学べます。 学生や研修医とのやりとり，教育が好きになります。
⑨ 学会について	日本内科学会、日本プライマリーケア連合学会など
⑩ その他	

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	日本内科学会総合内科専門医、日本感染症学会感染症専門医など

3.専門研修プログラムで採用の場合

項目	内容
① 基幹施設	藤田医科大学総合診療プログラムと連携。専門研修連携施設となっています。
② 取得可能な専門医	総合診療専門医

4.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

多数の専門科がそろった当院ですが、当科はいわゆる「振り分け外来」のみを行っているわけではありません。当たり前の診療を当たり前に行い、患者さんのために何かしら役に立つこと、その姿を医学生や研修医に伝えることが、私たちの役割だと考えています。

都市大病院での総合内科の役割を模索しながら、総合内科・総合診療の裾野を広げていければと思っています。多様な働き方を歓迎しており、子育て中の女性医師など、夜間休日の対応ができない医師も活躍されています。総合診療・総合内科に関心のある医師のご連絡をぜひお待ちしております。

名古屋医療センター 総合内科

—「あってよかった」総合内科 そういってもらえるような診療を—

当院の総合内科の特徴

名古屋医療センター総合内科は2010年10月に開設されました。「総合内科」「総合診療科」は施設によって内容や取り組みが多様です。多数の専門科がそろった当院ですが、当科はいわゆる「振り分け外来」のみを行っているわけではありません。当たり前の診療を当たり前に行き、患者さんのために何かしら役に立つこと、その姿を医学生や研修医に伝えることが、私たちの役割だと考えています。

総合内科のモットー

- ①「ほかのどこもやってない」「あってよかった」総合内科。
- ②「No Blame」「RespectとThanks」を大切に。
- ③「当科的には異常なし」がなくなっただい。
- ④間口を狭めず、深みを失わない診療をめざしたい。
- ⑤在宅医療から外来・病棟、救急・ICUまで点・線・面でイメージしたい。
- ⑥教育は「Pay Forward」、見返りを求めず行いたい。

…そんなことを、肩の力を抜きながら考えたい。

診療内容・実績

毎日初診2診、再診2診で外来診療を行っています。外来では、発熱や浮腫、倦怠感など、何科に受診したらよいかわからないという患者さんの診療や、不明熱、未診断の諸症状についての他科依頼などを行っています。当科は感染症専門科ではありませんが、AST・ICT活動、感染症に関する他科依頼にも対応しています。

ER診療にも携わっており、外来やERから入院が入るため、病棟業務も常に行っております。おおよそ10～15名の入院患者を担当しており、平成30年度の入院患者数は約370名でした。

また、他院（諏訪赤十字病院、豊橋医療センター、豊田地域医療センター）へ診療および教育援助のため訪問しています。

診療体制

2019年4月現在、スタッフ医師4名＋診療看護師（JNP）1名＋後期研修医3名で診療にあたっています。初期研修医・診療看護師（JNP）も診療チームに加わり診療・研修を行います。総合内科専門医・プライマリケア認定医が在籍しており、様々な視点から患者さんの診療や生活、また、ご家族への関わりなどを日々検討しています。

カンファレンス

日々の集まりとしては…

- 毎朝の全体カンファレンス(8:15～)
- 毎夕のチームカンファレンス
- 火曜午後の外来症例カンファレンス(16:30～)
- 金曜午後の全体カンファレンス(16:00～) があります。

医学生・研修医教育

当科では、医学生・初期/後期研修医教育に力を入れています。平成30年度は34名の学生見学、実習を受け入れました。初期研修医はほぼ全員が当科をローテ科として選択しています。後期研修では、総合内科を志望している方もいない方も、こまやかな一般的内科知識を見直すことができます。

ローテ期間中はチームごとに定期的にカンファレンスを行うとともに、ローテ期間終了後には、振り返りカンファレンス・フィードバックを行います。

当科で研修すると…

- ・さまざまな愁訴に対する対応が経験できます。
- ・将来どの専門に進むとしてもその基盤となるであろう内科的なものの見方が身につきます。
- ・ひとりひとりの患者さんに真摯に対応してゆく診療スタンスが体に染みつきます。
- ・いろいろの問題が複雑に絡み合った、正解のない状況に対峙するバランス感覚が磨かれます。
- ・学生や研修医とのやりとり、教育が好きになります。
- ・あなたのよさが最大限に生かされる診療、研修、教育、振り返り、フィードバックの場が提供されます。

総合診療・総合内科にすこし興味があるけれど不安もある、でもやっぱり広く深くかかわりたい、そんなあなたにぜひいちど見学にきてください！お待ちしております(^ ^)

